

決算の内容が分かりにくい・・・



月収30万円の「大野さん」の家計簿で例えてみましょう。



大野さんちの令和5年度決算

大野市の令和5年度一般会計決算（歳入約223億円、歳出約214億円）を、月収30万円（年収360万円）の「大野さん」の家庭に例えて家計簿を作りました。

なお、参考として記載した前年度（令和4年度：歳入約197億円、歳出約189億円）の金額は、令和5年度の決算額を月収30万円とした場合に、いくらになるかを計算して比較しています。

○大野さんちの1ヶ月あたりの収入

項目	金額（円）	前年度（参考）	
給料	↑ 63,100	62,400	（市税、使用料、手数料など）
親からの援助	↑ 183,100	171,600	（地方交付税、国県補助金など）
貯金の引出し	↑ 23,900	8,800	（基金繰入金など）
借金	↑ 19,000	9,500	（市債）
前月からの繰越金	↓ 10,900	12,800	（繰越金）
合計	↑ 300,000	265,300	

★前年度と比べて「前月からの繰越金」以外は増えており、全体的には約13%収入が増えました。

収入の約2/3を占める「親からの援助」は、親（=国・県）の経済状況等に左右されます。安定的な財政運営のためには、親に頼りすぎないように、給料を増やす必要があります。その方法として、企業誘致や地域産業振興などの取組みによる税収増加、使用料・手数料の適正化、保有資産の売却・有効活用の検討などが考えられます。

かめじろうの
財政診断



かめじろう

○大野さんちの1ヶ月あたりの支出

項目	金額 (円)	前年度 (参考)	
食費	↓ 45,000	45,400	(人件費)
医療費など	↑ 46,300	44,900	(扶助費)
日用品・光熱水費	↓ 40,900	41,900	(物件費)
家や家具などの修理代	↓ 7,300	10,800	(維持補修費)
子への仕送り	↓ 52,400	55,300	(繰出金、補助費等など)
借金の返済	↓ 18,000	18,600	(公債費)
家の増改築など	↑ 51,200	22,700	(普通建設事業、災害復旧費)
貯金	↑ 26,100	14,800	(積立金)
合計	↑ 287,300	254,400	

★前年度と比べて「家の増改築など」が増えたのは、小中学校の改修が本格的に始まったことが大きく影響しています。「貯金」が増えたのは、収入でも増えている「貯金の引出し」の一部を再度貯金（預け先の変更）したことなどによります。全体的には約13%支出が増えました。

過去10年間の支出を見ると、医療費など（扶助費）、日用品・光熱水費（物件費）、子への仕送り（繰出金、補助費等）が増加傾向にあります。医療費や子への仕送りには、社会保障関係の経費が多く含まれているため、今後も増加傾向が続くものと予想されます。家の増改築（普通建設事業費）も、小中学校や老朽化した施設の改修などにより、今後数年間は増加が見込まれます。今後の支出の増加に備えるため、全体的な事業内容の見直しや公共施設の再編などを推進する必要があります。

かめじろうの
財政診断



かめじろう

○大野さんちの借金と貯金

（令和5年度決算額を年収360万円とした場合）

項目	金額 (円)	前年度 (参考)
借金	↑ 1,972,100	1,955,000
貯金	↑ 1,129,700	926,500

借金は年収の約55%で、貯金は月収の約3.8月分となっています。借金を抑え貯金を増やしたいところです。

※一般会計に係る令和5年度現在高